

シルクジャガード

シルクジャガードの原料に使っているシルクは、約五千年前に中国で初めて発見されたと言われています。シルク＝絹とは、蚕（かいこ）という絹糸虫（けんしちゅう）から取った細くて長い糸です。

その主な成分は、18種類のアミノ酸を含んだたんぱく質そのものです。その繊維の断面はフィブロインという2本そろった糸にセリシンという粘着質のものによりカバーされて1本の生糸となっています。このべとついたセリシンを熱湯につけて取り除いて何本かに紡いではじめて絹糸として利用できるようになります。

【特 長】

- ①シルクの主な成分は、18種類アミノ酸を含んだたんぱく質で、素肌に触れるものとしては最良の性質を持っています。
皮膚細胞の活性化を促し、血管の硬化を防ぎ、皮膚病や皮膚の炎症、床づれの防止等たいへん効果のあることが医学的に証明されています。
- ②静電気が起こりにくく、空気中の埃やばい菌を吸い付けずに皮膚の毛穴に入った老廃物を取り除いてくれます。
- ③シルクは動物繊維の中でも、光沢、吸湿性、通気性、肌触りと、どれをとっても抜群の優秀さを誇り、優れた健康衣料です。
- ④夏は涼しく、冬は暖かいです。
- ⑤紫外線を防いでくれます。(=UV効果)
- ⑥シルクは300～460℃でないと燃えず、衣服としても安全な繊維といえます。
- ⑦ゴミとして焼却しても有害なガスや物質とはならず、有機質の土にかえってしまいます。環境や自然にとっても優しい天然素材です。
- ⑧外の紫外線や埃によって黄変が増しますので、日陰に干してください。

【紋 織】

紋織りは各種の組織を組み合わせ、また色糸を使用して複雑な模様を織り出した織物の総称を言い、私たちの身の回りにある織物の中で最も一般的なものといえます。近年の紋様は、紋紙と呼ばれる規則的に穴のあいた紙をジャガードと呼ばれる機械にセットすることにより、文様をあらわす部分の経糸を上下させ、そこに絵緯（柄を出す横糸）をいれて文様を表現します。